



Cisco Unity Express Interactive Voice Response の概要

IVR によって、電話発信者がボイス メニューから、またはシステムと対話してオプションを選択できるようになります。事前に録音した音声プロンプトが再生されたら、発信者は電話キーボード上の番号を押してオプションを選択します。

Cisco Unity Express IVR アプリケーションは、Cisco Unified Communications Manager Express または Cisco Unified Communications Manager と連動して、中小企業向けに次の機能を提供します。

- 発信者がクエリーを実行して顧客データベースから情報を収集、およびデータベースに保存されている情報を制御する。
- IVR アプリケーション内から発信電子メールまたはファックスを送信することにより、IVR アプリケーションを使用して実行されたオーダーを確認する。
- 着信 HTTP 要求ベースのトリガー アプリケーションを使用して IVR アプリケーションを開始し、オーダーを満たして出荷したことの通知を電子メール、ファックスまたは電話で行う。

Cisco Unity Express ソフトウェアのインストールおよびアップグレードのガイドラインおよび手順については、『[Cisco Unity Express 7.0 Installation and Upgrade Guide](#)』を参照してください。

Cisco Unity Express ボイスメールおよび自動受付アプリケーションは、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) または Cisco Unified Communications Manager と連動して、中小企業向けに次の機能を提供します。

- オンサイトまたはリモートの電話ユーザ用ボイスメールボックスの作成および保守。最大メールボックス数は、ハードウェア モジュールおよび Cisco Unity Express 用に購入したライセンス契約によって異なります。システムの制限については、「[ソフトウェア ライセンス](#)」(P.10) を参照してください。
- 発信者が会社の電話番号をダイヤルしたときに再生されるメッセージ、および特定の内線番号または従業員に発信者を案内するプロンプトの録音およびアップロード。

Cisco Unity Express ソフトウェアのインストールおよびアップグレードのガイドラインおよび手順については、『[Cisco Unity Express 7.0 Installation and Upgrade Guide](#)』を参照してください。

この章の構成

- 「[ソフトウェア ライセンス](#)」(P.10)
- 「[管理インターフェイス](#)」(P.10)
- 「[その他のリファレンス](#)」(P.10)
- 「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」(P.12)

ソフトウェア ライセンス

Cisco Unity Express の IVR (Interactive Voice Response; 自動音声応答) サポート用オプションアドオン ライセンス パッケージに関するライセンスの取得方法については、『[Release Notes of Cisco Unity Express 7.0](#)』を参照してください。

管理インターフェイス

Cisco Unity Express には、次の 2 つの管理インターフェイスが用意されています。

- グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) : このユーザ フレンドリな Web ベースのインターフェイスを使用して、すべてのボイスメール機能および自動受付機能を管理できます。

GUI は、Web ベースのアプリケーションに精通している管理者および Cisco IOS コマンド構造に慣れていない管理者を対象としています。GUI メニューおよび画面を使用した設定手順については、『[Cisco Unity Express 7.0 GUI Administrator Guide](#)』を参照してください。

- コマンドライン インターフェイス (CLI) : このテキスト ベースのインターフェイスには、GUI と同じ管理機能と設定機能があります。インストール、アップグレード、およびトラブルシューティングの機能は、CLI コマンドからのみ使用可能です。管理者は、ルータとの Telnet セッションを介してこのインターフェイスにアクセスします。

CLI は、インストール担当者、リセラー、サポート担当者、および Cisco IOS コマンド構造とルータに精通したその他の担当者を対象とします。これらの担当者にとっては、特にトラブルシューティング、スクリプティング、複数サイトのバルク プロビジョニングを実行する場合に、CLI を使用してシステムにアクセスする方が GUI を使用するよりも簡単です。

Cisco Unity Express の CLI コマンドの構造は、Cisco IOS の CLI コマンドの構造とよく似ています。ただし、Cisco Unity Express の CLI コマンドは Cisco IOS の構成に影響しません。Cisco Unity Express モジュールにログインすると、コマンド環境は Cisco IOS 環境ではなくなります。

Cisco Unity Express でのエラー メッセージには、Cisco IOS 環境でのエラー メッセージと異なるものもあります。

GUI および CLI は、IP ネットワーク内の任意の場所にある PC またはサーバからアクセス可能です。GUI にアクセスするには、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降のバージョンを使用します。Cisco Unity Express は、その他のブラウザをサポートしていません。CLI にアクセスするには、ルータに Telnet 接続してから、**service-module** コマンドを使用します。

その他のリファレンス

この項では、Cisco Unity Express に関するリファレンスを示します。

Cisco Unity Express 関連マニュアル

関連項目	参照先
Cisco Unity Express の管理	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unity Express 7.0 GUI Administrator Guide』 『Cisco Unity Express 7.0 Command Reference』 『Cisco Unity Express 7.0 Installation and Upgrade Guide』 『Release Notes for Cisco Unity Express 7.0』
Cisco Unity Express ボイスメール スクリプト	『 Cisco Unity Express 7.0 Guide to Writing and Editing Scripts 』
Cisco Unity Express ボイスメール ユーザ情報	『 Cisco Unity Express User Guides 』
シスコ モジュール ハードウェアのインストール	<ul style="list-style-type: none"> 『AIM Installation Quick Start Guide: Cisco 2600, 3600, and 3700 Series』 『Replacing Compact Flash Memory on Cisco AIM-CUE Advanced Integration Modules』
Cisco Unity Express ソフトウェアの著作権およびライセンス	『 Cisco Unity Express Software Copyrights and Licenses 』
Cisco Unity Express のテクニカル サポート マニュアル	『 Cisco Unity Express Troubleshoot and Alerts 』
Cisco Unified Communications Manager (注) Cisco Unity Express 7.0 と互換性のある Cisco Unified Communications Manager のバージョンについては、『 Cisco Unity Express Compatibility Matrix 』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』 『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』
Cisco Unified CME (注) Cisco Unity Express 7.0 と互換性のある Cisco Unified CME のバージョンについては、『 Cisco Unity Express Compatibility Matrix 』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Express System Administrator Guide』 『Cisco Unified Communications Manager Express Command Reference』
Cisco Unity	『 Networking in Cisco Unity Guide 』
シスコ ハードウェア プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco 2800 Series Hardware Installation』 『Cisco 3800 Series Hardware Installation』

Cisco IOS 関連マニュアル

関連項目	参照先
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco IOS Debug Command Reference, Release 12.4T』 『Cisco IOS Voice Command Reference』
Cisco IOS 音声トラブルシューティング情報	『 Cisco IOS Voice Troubleshooting and Monitoring Guide 』

MIB

MIB	MIB リンク
<ul style="list-style-type: none"> • CISCO-UNITY-EXPRESS-MIB • CISCO-VOICE-CONNECTIVITY-MIB • CISCO-VOICE-APPLICATIONS-OID-MIB • CISCO-PROCESS-MIB • SNMPv2-MIB • IF-MIB • IP-MIB • SYSAPPL-MIB 	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、および機能設定に適した MIB を特定およびダウンロードするには、http://www.cisco.com/go/mibs の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p>

RFC

RFC	タイトル
1869	SMTP Service Extensions
1893	Enhanced Mail System Status Codes
2045	<i>Multipurpose Internet Mail Extensions Part One: Format of Internet Message Bodies, RFC</i>
2421	Voice Profile for Internet Mail - Version 2
2821	Simple Mail Transfer Protocol
2833	RTP Payloads for DTMF Digits, Telephony Tones and Telephony Signals
3261	SIP: Session Initiation Protocol
3501	Internet Message Access Protocol - Version 4rev1

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。このドキュメンテーションには、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も掲載されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

Really Simple Syndication (RSS) フィードとして『*What's New in Cisco Product Documentation*』に登録し、リーダー アプリケーションを使用して、コンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定します。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。